

令和6年度

認定看護管理者教育課程
サードレベル

募集要項



後援

熊本県看護協会

目 次

I	公立大学法人熊本県立大学の概要	1
II	認定看護管理者教育課程サードレベルの概要	2~3
	1 概要		
	2 教育理念		
	3 教育目的		
	4 到達目標		
	5 受講要件		
III	教育課程	4
IV	募集概要	5~7
	1 募集人員		
	2 開催期間		
	3 開催方法		
	4 受講にかかる費用		
	5 応募期間		
	6 応募書類		
	7 応募方法・応募上の注意		
	8 送付先		
	9 受講者選考方法		
	10 受講者選考結果通知		
	11 その他・交通アクセス		
	提出書類	8~13
	提出書類	A	
	提出書類	B	
	提出書類	C	
	提出書類	D	
	提出書類	E	
	提出書類	F	

I 公立大学法人熊本県立大学の概要

熊本県立大学の概要

熊本県立大学は、文、環境共生、総合管理の3学部3研究科からなり、人文科学系、自然科学系、社会科学系の3つが有機的に結合した先進的な「集約型大学」です。

また、「地域実学主義」を教育理念とし、「理論を現場に学ぶ」体験的、実践的学修方法であるフィールドワークや、グローバルな視点を持って地域課題の解決を目指す「もやいすと」育成システムなど、現場に学び実践力を育むための教育を展開する特色ある大学です。

平成18年には、豊かな教養と高度な専門性を有し、総合的な知識と実践力、創造力を備えた有為な人材を育成するとともに、研究成果を社会に還元し、教育研究資源を地域に提供することを通じて、熊本県ひいては国際社会の発展に寄与することを目的とし、地方独立行政法人へ移行しました。

これらの特徴を生かし、学生、保護者、卒業生をはじめ広く地域の皆様の期待に応えられるよう、大学の価値向上に取り組んでいます。



熊本県立大学の理念



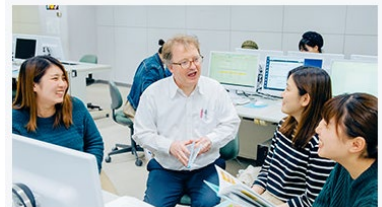
総合性への志向

本学は、人文・社会・自然の学問の三分野から成る大学として、学際的な方法を重視しつつ、総合的な知の形成を目指す。



地域性の重視

本学は、「地域に生き、世界に伸びる」を標榜し、地域社会に開かれた大学として、当面する諸問題を分析し解決すること、地域の知的創造の拠点となることを目指す。



国際性の推進

本学は、グローバル化に対応して、アジアをはじめ世界の多様な文化を学びつつ、諸外国の人々との交流を進め、国際的・多角的な文化の創造を目指す。

地域とのパートナーシップによる社会人への継続的教育の実施

本学では、卒業生はもとより、広く社会人を対象に、専門職業人としての資質能力開発の機会を提供することを目的に、CPD(Continuing Professional Development:継続的専門職能開発)プログラムを実施しています。

平成23年10月には、本格的なプログラムの運用に向け、熊本県立大学CPDセンター(現CPDホール)を設置しました。

これからの知識基盤社会への確に対応するため、地域社会のニーズに合致したCPDプログラムのさらなる充実を図ります。



II 認定看護管理者教育課程サードレベルの概要

1 概要

本学の認定看護管理者教育課程サードレベルは、平成 26 年に CPD（継続的専門職能開発）プログラムの一環として始まり、学習者が看護管理の実践にあたり自信を持って前むきに取り組める機会となる学習プログラムを提供し、看護管理者の資質と看護水準の維持・向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献することを目的としています。

令和 2 年には文部科学大臣が認定する「職業実践力育成プログラム（BP）」に認定されています。

* 社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等が行う社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が「職業実践力育成プログラム（BP）」として認定しています。

令和 5 年には厚生労働大臣が「専門実践教育訓練」に指定しました。これにより、厚生労働省の「教育訓練給付制度」を利用できるようになりました。

利用するためには受講開始日 1 か月前までに、ご自身によるハローワークでの手続きの完了が必要です。



2 教育理念

保健医療福祉を取り巻く社会環境が急激に変化する中、ヘルスケアサービスを必要とする個人・社会のニーズは多様化し、より質の高い保健医療福祉を求めるようになり、看護職への期待も高まっています。このような状況においては、看護管理者は広い視野に立ち、ヘルスケアサービス分野で生じる諸問題を高度な知識と判断力によって、多角的・統合的に解決するためのマネジメント能力が不可欠となります。

これらの状況に応えるべく、本教育課程では、看護管理者を対象に学習者のニーズと本学の資源をコーディネートし、さらには、学際的視点で『学び足し、学び直し』を支援することにより、専門職業人としての能力開発の機会を提供します。本教育課程では、今後の看護管理実践にあたって、自己の経験を理論化し、知的創造力を高めながら、変動する現場に自信を持って対応できる人材を育成します。

3 教育目的

多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得することを目的とします。

4 到達目標

- (1) 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考える事ができる。
- (2) 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示する事ができる。
- (3) 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。

5 受講要件

以下の受講要件をいずれも満たしている者。

- (1) 日本国の看護師免許を有する者。
- (2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- (3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。

または、看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。

～ 教育訓練給付制度の指定講座となりました ～

熊本県立大学認定看護管理者教育課程サードレベルはR5年10月より「専門実践教育訓練」に指定されています。

教育訓練給付制度

働く人の主体的な能力開発の取り組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を目的とする雇用保険の給付制度です。

一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）または被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講・修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合額（上限あり）が公共職業安定所（ハローワーク）から支給されます。この制度の概要や手続き方法に関しては、厚生労働省ホームページ 及び居住の公共職業安定所（ハローワーク）でご確認ください。

※受講開始日 1ヶ月前までに、ご自身によるハローワークでの手続きが必要です。

厚生労働省ホームページ

ハローワークのホームページ



Ⅲ 教育課程

1 教育内容及び時間数

教科目	単元の内容	時間数
ヘルスケアシステム論Ⅲ	1) 社会保障制度・政策の動向 2) 看護制度・政策の動向 3) ヘルスケアサービスの創造	36
組織管理論Ⅲ	1) 組織デザイン論 2) 組織における倫理	30
人材管理Ⅲ	1) 社会システムと労使関係 2) 看護管理者の育成	15
資源管理Ⅲ	1) 経営戦略 2) 財務管理 3) 組織的情報管理	33
質管理Ⅲ	1) 経営と質管理 2) 組織の安全管理	30
統合演習Ⅲ	統合演習 実習	51
総時間数		195

2 修了要件

(1) 修了要件は、以下の①②の基準をいずれも満たしていること。

①各教科目の所定の時間数の4/5以上出席していること。

②各教科目の評価がA、B、C、Dの4段階の「C」以上であること。

(Dは不合格とする)

評価基準 A:(80点以上) B:(79~70点) C:(69~60点) D:(59点以下)

(2) 教科目レポートについて

教科目レポートは、評価責任者が『教科目レポート課題』として課題内容を科目終了後に示し、評価基準に基づき採点する。

(3) 教科目レポートの再評価について

評価結果が「D」の場合は、1教科目1回のみ再評価を受けることができる。

(4) 出席時間不足及び科目不合格による未修了について

次回開催時に限り当該科目を再受講できる。

(5) 修了証明

サードレベルのすべての教科目を履修した者に熊本県立大学長が履修証明書を発行する。

IV 募集概要

- 1 募集人員 25 名
* 最小催行人数 20 名に満たない場合は開催いたしません。
- 2 開催期間 令和 6 年（2024 年）7 月 22 日（月）～ 9 月 27 日（金）
（うち 35 日間の予定）
（原則 月曜日～金曜日、大学夏季休業中に開講）
開講時間 9：30～12：30、13：30～16：30
* 講師等の都合により、時間が変更になる場合があります。
* 令和 6 年 4 月初旬に、熊本県立大学 HP 上で【開講日予定表】を公開します。
- 3 開催方法 基本的に、「対面」での講義と演習を予定しています。
ただし、社会情勢や各種感染症のまん延状況により、一部を「オンライン」で実施する可能性もあります。
- 4 受講にかかる費用
受講料 298,000 円（修了審査料含みます）
* 受講料の納付方法については、受講決定の際にご案内します。
* このほか、参考書代等が必要になります。
- 5 応募期間 令和 6 年（2024 年）4 月 1 日（月）～4 月 26 日（金）（当日消印有効）
- 6 応募書類
応募書類は次の A～F の 6 種類で、熊本県立大学ホームページ（TOP >お知らせ > イベント > 認定看護管理者教育課程サードレベル受講生募集）または地域ラブラトリー（お知らせ、講座・学び）からダウンロードできます。
 - A 受講申込書
 - B 看護師免許の写し
 - C 勤務証明書
 - D 小論文（本要項の 7 ページの「9 受講者選考方法」を参照）
 - E セカンドレベル修了証の写し又は修了見込証明書の写し
 - F 職位証明書

7 応募方法・応募上の注意

(1) 提出書類

A～D：提出必須

E・F：本要項の3ページの「5 受講要件」の(3)に応じ、該当するいずれかを提出

(2) 提出書類を角2封筒に入れ簡易書留にて郵送して下さい。応募は郵送のみ受け付けます。

なお、封筒表面余白に「サードレベル受講希望」と朱書きして下さい。

(3) 選考結果通知用封筒として、角2の返信用封筒に490円分（簡易書留扱い）の切手を貼り、送付先住所・宛名を記入して同封して下さい。

(4) 必要事項をみれなく記入して下さい。

(5) 記入に当っては、黒色ボールペン又は黒インクを利用し楷書で正しく記入して下さい。

(6) 応募書類に不備がある場合は受理しません。又、一度受理した応募書類は返却しません。

(7) 出願書類に虚偽の記載をした場合、受講開始後であっても受講許可を取り消すことがあります。

【提出書類一覧】 (×は提出不要)

提出書類 受講要件	A 受講申込書	B 看護師免許書の写し	C 勤務証明書	D 小論文	E セカンドレベル 修了証 または 修了見込み証明書の写し	F 職位証明書
認定看護管理者セカンドレベルを修了している者	○	○	○	○	○	×
看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者	○	○	○	○	×	○

8 送付先

〒862-8502

熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学 地域・研究連携センター

認定看護管理者教育課程サードレベル担当

9 受講者選考方法

受講者は、熊本県立大学認定看護管理者教育課程サードレベル教育運営委員会が次の審査等により選考します。

(1) 書類審査

(2) 小論文審査

【課題】 サードレベル受講にあたって「トップマネジャーとしての看護管理上の課題」を述べなさい。

【形式】

- ① A4用紙1枚、横書き、ワードで作成（フォントはMS明朝、サイズ11ポイント、40字×36行以内）
- ② 1行目に『小論文』と記載、2行目に右寄で『氏名』を記載
- ③ 3行目に小論文の『タイトル』を記載（タイトルは文字数に含めない）
- ④ 本文は1行あけて5行目から記載
- ⑤ 表や図は使用しない
- ⑥ 参考文献の記載は不要

【小論文評価基準】

(1)論理的思考	テーマと内容の一貫性、論理的文章構成、倫理的配慮
(2)管理運営能力	客観的な課題表現、トップマネジャーとしての視点、意欲の有無
(3)記述力	規定に沿った書き方、用語・文章の表現力、誤字・脱字のなさ
A 80点以上 B 79点～70点 C 69点～60点 D 59点以下 *C以上を合格とする	

10 受講者選考結果通知

- (1) 通知日 令和6年（2024年）6月上旬
- (2) 通知方法 個人宛てに結果を郵送で通知します。

11 その他

- (1) 受講期間中、車で通学し大学敷地内に駐車する場合は許可申請の手続きが必要です。
- (2) 提出された個人情報については、受講者選考、選考結果の通知、受講手続き・受講中のお知らせ等の業務に使用する以外の目的では使用致しません。

【提出書類A】

受講申込書

		記入日	西暦	年	月	日
ふりがな						
氏名						
現住所	〒	—				
	電話番号：	—	—			
E-mailアドレス	*5GB程度の資料を添付し送受信が行えるメールアドレスを指定してください。					
所属施設	名称：					
	部署：					
	職位：					
所属施設住所	〒	—				
	電話番号：	—	—			
書類送付先	<input type="checkbox"/> 現住所					
該当する項目に チェック	<input type="checkbox"/> 所属施設住所・部署・職位					
受講要件	<input type="checkbox"/> セカンドレベルを修了している者					
該当する項目に チェック	<input type="checkbox"/> 看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者					

【個人情報の取り扱い】

本学の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。受講申込に際して得た個人情報は、受講申込に伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼等に用い、この利用目的の範囲を超えて取り扱うことはいたしません。もし、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。

【提出書類B】

看護師免許証の写し貼付用紙

免許証の写し貼付

注1 本用紙に貼付可能なサイズに縮小して貼付してください。

注2 免許証の写しを貼付位置に置いてのコピーでも結構です。

【提出書類C】

勤務証明書

西暦 年 月 日

氏名 _____

在職期間

上記の者は、当施設において看護師として以下のとおり勤務していること（したこと）を証明します。

西暦 _____年 _____月より

_____年 _____月まで 在職 _____年 _____か月間

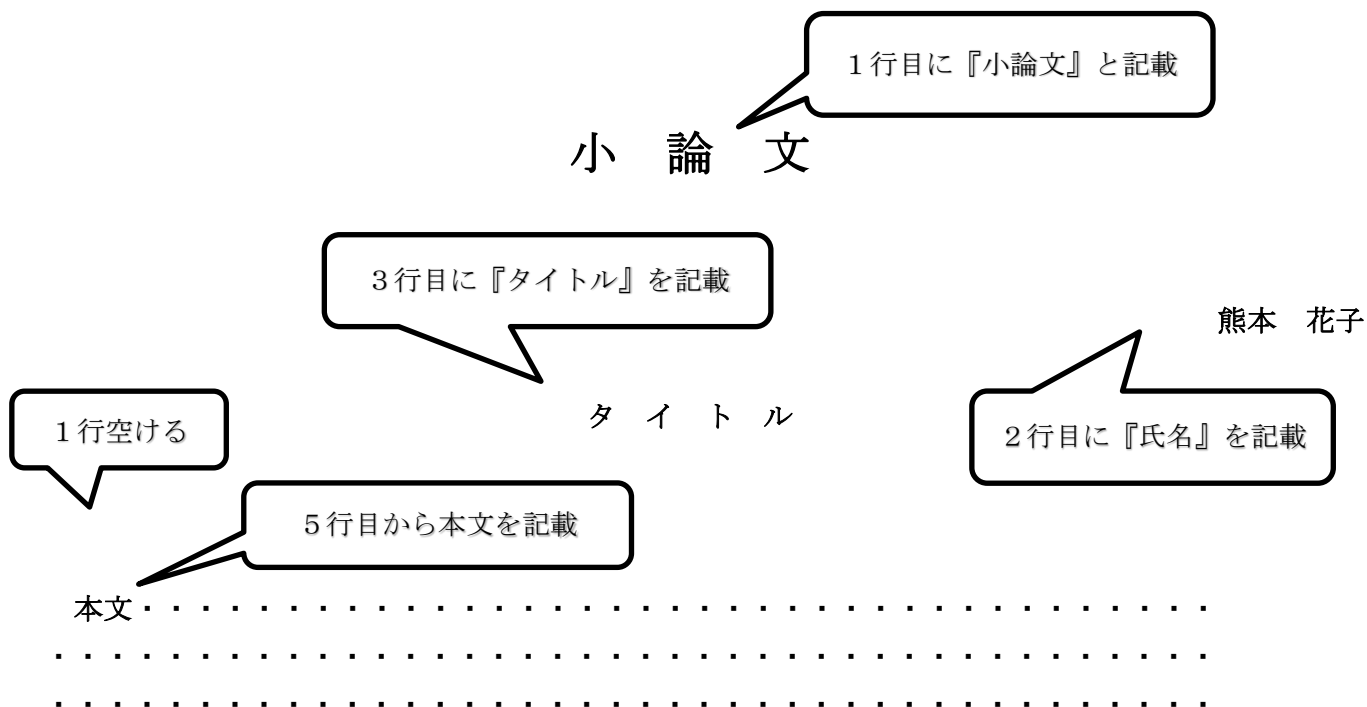
※本書1枚で「実務経験通算5年以上」を証明できない場合は、本書を複写し複数枚提出してください。

施設名 :

所在地 :

施設長名 :

【提出書類D】



本紙は以下の要領で作成してください。(上記参照)

- (1) A4判用紙を縦置きし、横書きに使用
- (2) ワードで作成(フォントはMS明朝、サイズは11ポイント、40字×36行以内)
- (3) 1行目に『小論文』と記載、2行目に右寄で『氏名』を記載
- (4) 3行目に小論文の課題から考えた『タイトル』を記載(タイトルは文字数に含めない)
- (5) 本文は1行空けて5行目から記載
- (6) 表や図は使用しない
- (7) 参考文献は不要

【提出書類E】

セカンドレベル修了証または修了見込証明書の写し 貼付用紙

修了証または修了見込証明書の写し貼付

注1 本用紙に貼付可能なサイズ（大きい場合は縮小）をお願いします。

注2 修了証または修了見込証明書（原本または写し）を貼付位置に置いての
コピーでも結構です。

【提出書類F】

職 位 証 明 書

西曆 年 月 日

氏名 _____

上記の者は、当施設において以下の職位であることを証明します。

※下記（１）か（２）のどちらか該当する欄を選び記載をお願いします。

（１）看護部長相当の職位にある者

職 位 : _____

（２）副看護部長相当の職位にある者

職 位 : _____

職位就任期間：西曆 _____年_____月より現在まで

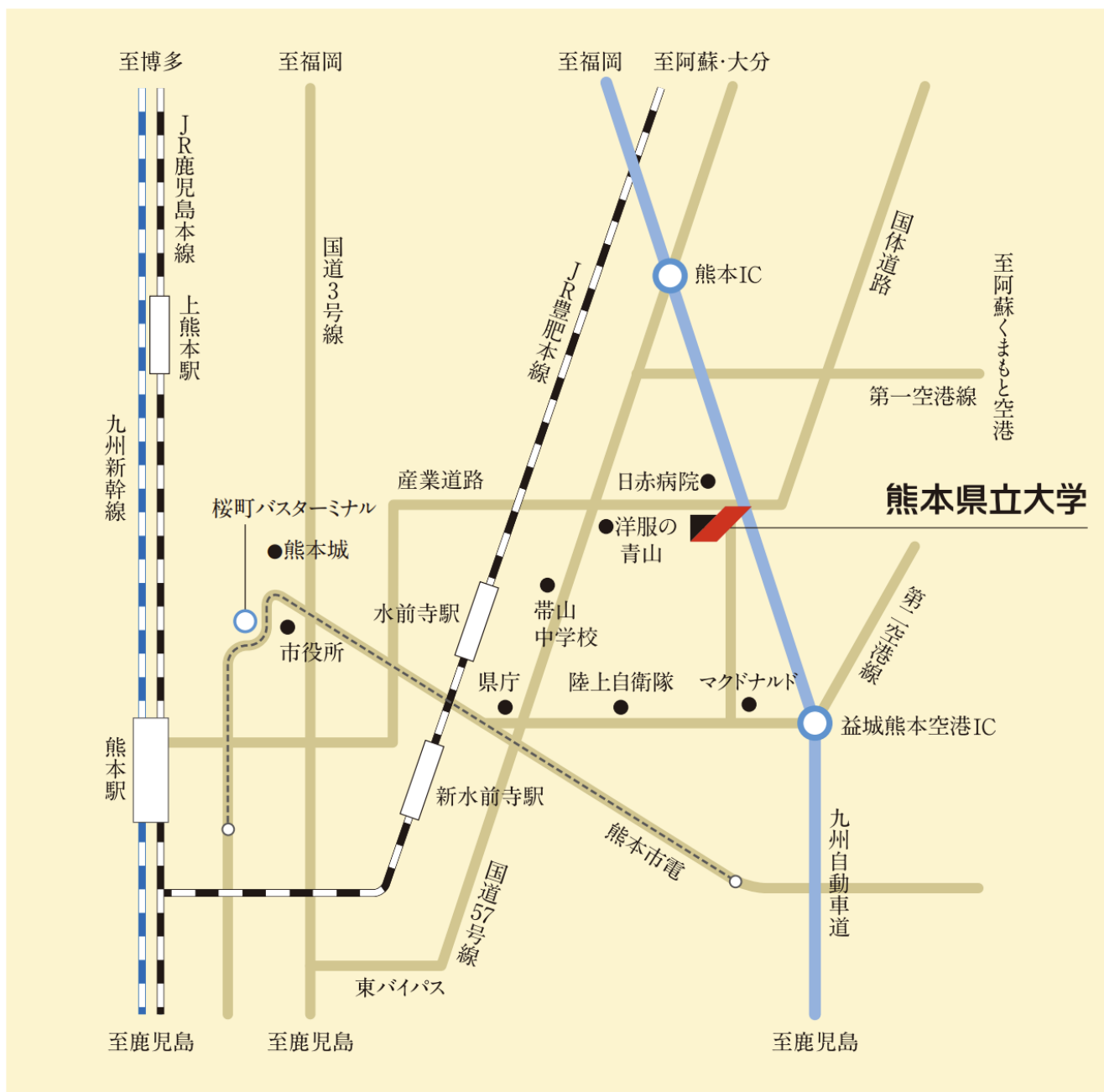
（または、西曆 _____年_____月まで）

施 設 名 : _____

所 在 地 : _____

施設長名 : _____

熊本県立大学への交通アクセス



問い合わせ先 熊本県立大学 地域・研究連携センター
認定看護管理者教育課程サードレベル担当
TEL 096-321-6612
E-mail renkei-c@pu-kumamoto.ac.jp